

令和 7 年

# 奥州市教育委員会会議録

第 9 回定例会 9 月 25 日招集

奥州市教育委員会

1 開会、閉会等に関する事項

開催日時 開会 令和7年9月25日(木)午後2時55分

閉会 令和7年9月25日(木)午後3時25分

開催場所 江刺総合支所4階特別会議室

2 出席委員等の氏名

	高 橋 勝	教育長
1 番	佐々木 哲 也	委員（教育長職務代理者）
2 番	松 本 崇	委員
3 番	菊 地 幸	委員
4 番	猪 股 登喜子	委員

3 説明のため出席した職員の職及び氏名

高橋広和教育部長、松戸昭彦教育総務課長、千田有美学校教育課長、菅野明史学校教育課主幹、小野寺正行歴史遺産課長、菊池淳協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長

事務職員出席者 丸山深幸教育総務課課長補佐

4 本日の会議に付した事件（議事日程第1号）

第1 会期の決定

第2 議案第1号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理に関し承認を求めることについて

第3 議案第2号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理に関し承認を求めることについて

5 会議の概要

開会、会議成立宣言、本日の会議日程について「議事日程第1号」により進めることを宣言、議案の審議

---

## 第1 会期の決定について

本日1日限りで決定

---

## 第2 議案第1号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理に関し承認を求めることについて

○松戸教育総務課長が議案を朗読、高橋教育部長が提案理由及び詳細説明

### 【提案理由】

- ・令和7年第3回奥州市議会定例会において、市議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについて、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、市長から当委員会の意見を求められたが、教育委員会を招集するいとまがなかったことから、「奥州市教育長に対する事務委任等に関する規則」の規定に基づき臨時代理処理を行い、市長に対し意見の回答を行った。この処理に対し、同規則の規定により当委員会の承認を求めるため、本案を提出するもの。

### 【詳細説明】

- ・令和7年第3回奥州市議会定例会に市長が提案した議案のうち、教育委員会に関するものは、議案が2件、報告が1件である。
- ・議案第13号「令和7年度奥州市一般会計補正予算（第6号）」は、10款教育費に関し、歳出を6千950万円増額し、予算総額を98億3千759万6千円とするもの。教育委員会における補正の主なものは、34ページのとおり。
- ・議案第20号「令和6年度奥州市一般会計歳入歳出決算認定について」、昨年度の10款教育費の支出済額は、64億9千828万1千884円。主な事業の詳細等については、別冊の「令和6年度主要施策の成果に関する報告書」及び「令和7年度行政評価（令和6年度事務事業分）一覧表」のとおり。
- ・報告第1号「議会の議決を経た工事請負契約の変更に係る専決処分の報告について」は、令和5年9月29日に議会の議決を経た「水沢中学校校舎等改築電気設備工事」の請負契約において、消防の指導により、感知器の仕様や拡声設備の数量を見直したことや、関連工事との調整による電灯設備の仕様を見直したことなどにより、工事費の増額が生じた。よって、令和7年8月4日付けで、当初契約額に216万7千円を追加し、変更後の請負金額を4億8千506万7千円とする変更契約の締結に係る専決処分をしたもの。

### 【質疑等】

猪股委員

資料の34ページ、補正予算のうち幼稚園管理運営経費、衣里幼稚園解体事業について、閉園した施設で再利用しているところもあるが、当該施設は解体ということで、その理由を伺いたい。

菅野学校教育課主幹

担当は保育こども園課だが、経緯を把握しているのでお答えする。衣里幼稚園の土地は、園舎部分は民地、園庭部分は市有地となっている。閉園にあたり、地元住民からも有効活用してほしいとの声もあったため、市としては一体的に活用することを目指し、利活用の検討を進めてきたが、なかなか難しいことから、今回解体して土地を返還するという見通しが立ったのだと思われる。

### 【討論】

なし

採決の結果、原案のとおり決することに全員異議なし

原案可決

第3 議案第2号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理に関し承認を求めることについて

○ 松戸教育総務課長が議案を朗読、高橋教育部長が提案理由及び詳細説明

【提案理由】

- ・ 令和7年第3回奥州市議会定例会において、市議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについて、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、市長から当委員会の意見を求められたが、教育委員会を招集するいとまがなかったことから、「奥州市教育長に対する事務委任等に関する規則」の規定に基づき臨時代理処理を行い、市長に対し意見の回答を行った。この処理に対し、同規則の規定により当委員会の承認を求めるため、本案を提出するもの。

【詳細説明】

- ・ 令和7年第3回奥州市議会定例会に市長が追加提案した議案のうち、教育委員会に関するものは、議案が1件、報告が2件である。
- ・ 議案第30号「水沢中学校校舎等改築建築工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めることについて」は、令和7年3月28日に変更契約の専決処分をし、同年6月7日に議会に報告した「水沢中学校校舎等改築建築工事」の請負契約において、基準に基づき積算したクレーンの仕様を現場での実績により見直し、これに伴い敷き鉄板の数量等を変更したほか、現場精査による数量等の変更及び受注者が週休2日工事の取組を達成したことに伴う採用単価の見直しによる工事費の増額が生じた。よって、契約金額に5千844万3千円を追加し、変更後の額を28億5千655万7千円とする変更契約を締結しようとするもの。
- ・ 報告第4号「議会の議決を経た工事請負契約の変更に係る専決処分の報告について」は、令和7年8月4日に変更契約の専決処分をし、同月29日に議会に報告した「水沢中学校校舎等改築電気設備工事」の請負契約について、受注者が週休2日工事の取組を達成したため、採用単価の見直しを行ったことにより、工事費の増額が生じた。よって、令和7年9月16日付けて、契約金額に119万9千円を追加し、変更後の請負金額を4億8千626万6千円とする変更契約の締結に係る専決処分をしたもの。
- ・ 報告第5号「議会の議決を経た工事請負契約の変更に係る専決処分の報告について」は、令和5年9月29日に議会の議決を経た「水沢中学校校舎等改築機械設備工事」の請負契約において、現場精査による数量等の変更による工事費の減額及び受注者が週休2日工事の取組を達成したことに伴う採用単価の見直しによる工事費の増額が生じた。よって、令和7年9月16日付けて、当初契約額に29万7千円を追加し、変更後の請負金額を5億6千789万7千円とする変更契約の締結に係る専決処分をしたもの。

【質疑等】

松本委員

契約により決まったことを、後から何度も追加することはよくあることなのか。また、週休2日の達成について、市側で金額を増額するべきものなのか。

松戸教育総務課長

変更契約について、当初の設計から変更することはあること。大きな工事ということもあり、施工後に当初想定していなかった不具合が判明したり、仕様が変わったりということはある。それから、週休2日の取組については、働き方改革の推進ということで、建設業界の技術者の確保や建築現場の就労環境の改善を目的として、国・県において取り組んでおり、市でも県に準拠した形を取っている。今回は、電気、機械、建築全ての工事について週休2日を達成したということで、ご褒美というわけではないが、経費の割り増しを行い、先ほどの目的に寄与するよう取り組んでいるもの。

高橋教育長

制度や法律が変わったものか。

松戸教育総務課長

水中の建築当初は週休2日を実施するかどうかを業者が選択でき、今回の業者は実施する選択をしていたため、達成したことに伴って労務費の割り増しを行ったが、最近ではこの週休2日をさらに促進するという一方で、選択制ではなく、やってもらうという方針に変わっている。

松本委員

そのご褒美は、国から出るものか。業者が自分たちのために達成したものに対して、こちら側からご褒美を支払うということにどうしても違和感がある。

松戸教育総務課長

国では週休２日促進工事实施要領を、県では県土整備部週休２日工事实施要領をそれぞれ定めており、市はこれに準拠した形で行っている。国が推進しているものではあるが、交付金等はなく、支払いはそれぞれ発注した市が行う。この取扱い全国どこでも同様。

松本委員

発注側が負担する仕組みが腑に落ちない部分はあるが、技術者確保などのために仕方のないことで、そういうものなのだと理解したい。

佐々木委員

私も同様の疑問を持っていたが、先ほどのやり取りで概ね理解した。私からは変更契約について。以前胆沢中の建築の際に南都田中に勤務しており、工事の途中で様々な要望に対応してもらったことがあったため、建設途中で変更が必要になってくることは理解しているし、ありがたいことだと思う。その上で、変更内容の妥当性のチェックというのはどこで行うものなのか伺いたい。

松戸教育総務課長

業者、学校、市の担当者等が集まって定期的に行う工程会議において、他市の事例や安全安心の視点、学校の要望等を考慮しながら、変更内容の検討を行っている。特別な機関等があって決めている訳ではない。

高橋教育長

財政課にも協議が必要だろう。

松戸教育総務課長

増額となれば当然予算が伴うため、財政課にも相談することとなる。

佐々木委員

場合によっては認められないこともあるのか。

松戸教育総務課長

そのとおり。

松本委員

見直した結果、安くなることもあるか。

松戸教育総務課長

ある。今回のように工期が数年にわたる場合などは、その間に部材が進化したり、モデルチェンジで価格が変わったり、あるいは部材自体の見直しなどによって、高くなることもあれば安くなることもある。

松本委員

そのようにプラスマイナスを両方考慮した上での変更ということか。

松戸教育総務課長

そのとおり。

松本委員

承知した。

佐々木委員

水中の工事の進捗状況はどうか。

松戸教育総務課長

順調。10月7日の完成予定で、完成検査を経て11月末頃に引渡しを受け、その後、環境測定や備品搬入、引越し等を行い、計画どおり3学期からの供用開始という段取りで進めている。

【討論】

なし

採決の結果、原案のとおり決することに全員異議なし

原案可決

---

閉会